

SWE-0008F5

User s Manual

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

この度は、SWE-0008F5 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

- ・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 通信内容や保持情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・本製品は、一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。物理的・論 理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作し ない可能性があります。
- ・本製品のパッケージ等に記載されている性能値(スループット)は、当社試験環境下での参考測定値であり、 お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下 することがあります。
- ・ハードウェア、ソフトウェア(ファームウェア)、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品内部のソフトウェア (ファームウェア) 更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービス の一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- ・一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- ・ 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合が ありますので、通信事業者との契約内容をご確認ください。
- ・輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・本製品は日本の国内法(電気用品安全法・電波法等)のもとで利用可能な製品であるため、別途定める保証規 定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令な どによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- ・本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

■著作権等

- ・ ユーザーズ・マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社に帰属します。ユーザーズ・マニュアルの記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・ユーザーズ・マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・ユーザーズ・マニュアルの記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

■マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

■記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「**感電」「火災」「故障**」などが発生する場合があります。

これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「**発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

警告

■設置及び保管に関して

- 動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。 範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの 原因となる恐れがあります。
- ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。 動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの 発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- パソコンの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。パソコンの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を分解、改造しないでください。本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。
- ・必ず付属の専用電源ケーブルを使用してください。 付属品または指定以外の電源ケーブルの使用は発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因になります。
- ・付属品の専用電源ケーブルを他の機器に転用しないでください。 発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因になります。
- ・電源ケーブルの取り扱いを守って下さい。

電源ケーブルに加熱や無理な曲げ、引っ張ったりするなどといった行為はしないでください。発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因になります。また、電源ケーブルを抜くときは必ずプラグを持って抜いて下さい。

■取り扱いに関して

- ・ 高温に注意してください。本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・ 本製品を重ねて設置しないでください。 本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- 振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。

振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・ 静電気に注意してください。

本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。

・ 落下や衝撃に注意してください。

本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■その他

で利用のパソコンのデータのバックアップを取得してください。

本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

目次

同梱物の確認	1
各部の名称とはたらき	2
本製品前面	2
本製品背面	2
WEB 設定機能概要	3
WEB インターフェース接続手順	4
STEP1	4
STEP2	4
STEP3	4
STEP4	5
Administrator	6
Authentication Configuration	6
System IP Configuration	7
System Status	7
Load Default setting	8
Firmware Update	8
Reboot Device	9
Port Management	
Port Configuration	
Port Mirroring	
Bandwidth Control	
Broadcast Storm Control	
PoE	
VLAN Setting	
VLAN Mode	
VLAN Member	
Multi to 2 Setting	
Per Port Counter	
QoS Setting	
Priority Mode	
Class of Service	
Security	
MAC Address Binding	
TCP / UDP Filter	
Spanning Tree	
STP Bridge Settings	
STP Port Settings	
Trunking	
Link Aggregation Settings	
Backup/Recovery	
バックアップ	
リカバリ	
Miscellaneous	
Miscellaneous Setting	
Logout	
製品仕様	
ユーザ登録について	
弊社へのお問い合わせ	29

同梱物の確認

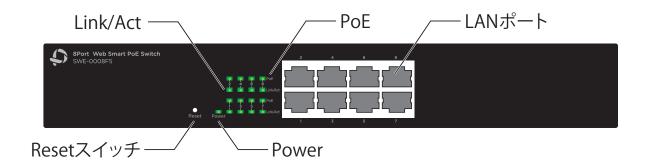
パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

- SWE-0008F5 本体
- 電源ケーブル
- ラックマウント金具(ネジ付属)
- ゴム足
- 安全に関する説明書
- 保証書

同梱物に破損または欠品があるときは、お手数ですが販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

各部の名称とはたらき

本製品前面



LED	Status	内容
Power	点灯	電源が入っています。
Power	消灯	電源が入っていません。
	点灯	該当する番号の LAN ポートがリンクアップしています。
Link/Act	消灯	該当する番号の LAN ポートがリンクアップしていません。
	点滅	該当する番号の LAN ポートが通信しています。
PoE	点灯	該当する LAN ポートで、PoE 給電を行っています。
POE	消灯	該当する LAN ポートで、PoE 給電を行っていません。

スイッチ	内容
	本製品を工場出荷時設定に戻します。
	1. 本製品に電源を入れます。
Reset	2. 「Reset スイッチ」を 5 秒以上押して離します。
	3. 本製品が再起動し、工場出荷時の状態に戻ります。

本製品背面



WEB 設定機能概要

本製品は初期状態で「192.168.2.1」の IP アドレスが設定されています。お使いのネットワークに導入する前に、同じ IP アドレスを使っている機器が他にないことを確認してください。

他に同じ IP アドレスを使っている機器があるときは、本製品の IP アドレスを変更してから、お使いのネットワークへ導入してください。

本製品の WEB インターフェースから設定を行う為には、設定用パソコンの IP アドレスを本製品の初期状態「192.168.2.1」と通信できる値(192.168.2.2 \sim 192.168.2.254)に変更する必要があります。

設定用パソコンのIPアドレス変更方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご確認ください。

WEB インターフェース接続手順

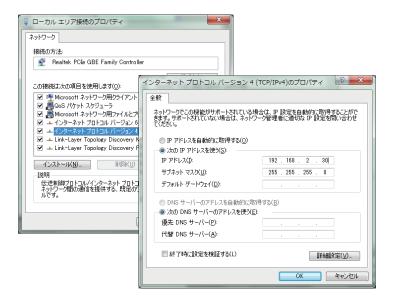
STEP1

設定用パソコンの IP アドレスを 192.168.2.2 ~ 192.168.2.254 の範囲内に変更し、本製品と LAN ケーブルで接続します。

本製品初期値は次の通りです。

IP アドレス : 192.168.2.1 サブネットマスク : 255.255.255.0

注意 : このとき他の機器、装置を取り付けないでください。



STEP2

設定用パソコンの WEB ブラウザ(InternetExplorer 等)を起動し、アドレス欄に本製品の IP アドレス「192.168.2.1」を入力します。

STEP3

以下のようなログイン画面が表示されますので、「ID」と「Password」を入力し、[OK] をクリックします。 初期値は、ID が「**admin**」、Password が「**admin**」です。

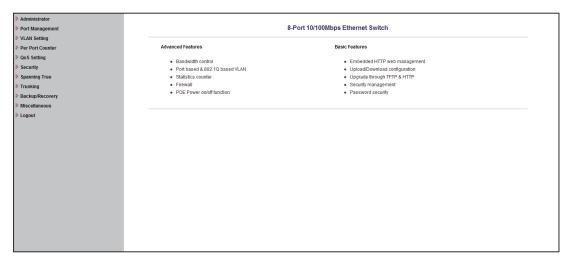
USER	LOG IN
Site:	192.168.2.1
ID:	
Password:	
	ОК

注意

: IP アドレスや、ID、Password を変更した場合は、それぞれ変更した値を入力してください。 また、変更した IP アドレス、ID、Password を初期値に戻す場合はハードウェアの Reset ボ タンを押して初期化してください。操作方法は P2 を参照してください。

STEP4

ログインに成功すると、以下のページが開きます。



本製品では以下の11項目の設定を行うことができます。

本製品の設定画面では、左側に設定項目を表示し、右側のメイン画面に設定値を入力することで、本製品を設定します。

Administrator

本製品のIPアドレスやIDなど、管理機能に関する設定を行います。

Port Management

本製品のポート速度等、物理的インターフェースに関する設定を行います。

VLAN Setting

本製品の VLAN 機能に関する設定を行います。

Per Port Counter

接続しているポートの送信・受信パケットのステータスが確認できます。

QoS Setting

本製品の優先制御機能に関する設定を行います。

Security

本製品が対応するセキュリティ機能に関する設定を行います。

Spanning Tree

本製品のスパニングツリー機能に関する設定を行います。

Trunking

本製品の Trunk 機能に関する設定を行います。

Backup/Recovery

設定情報のバックアップ・読み込みを行います。

Miscellaneous

その他の機能に関する設定を行います。

Logout

本製品の WEB インターフェースからログアウトします。

それぞれの設定項目を選択すると、さらに詳細な設定項目が表示されます。それぞれの設定方法に関しては、次項以降を参照してください。

Administrator

本製品のIPアドレスやIDなど、管理機能に関する設定を行います。

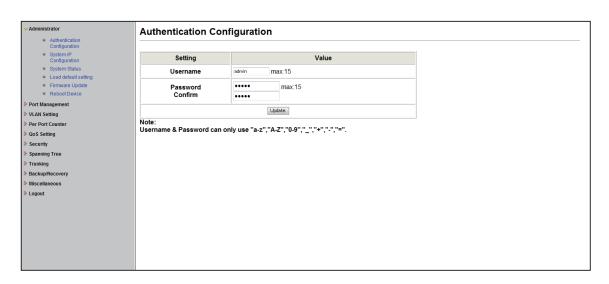
本設定階層には、さらに以下の6項目の階層があります。

- Authentication Configuration
- System IP Configuration
- System Status
- Load Default setting
- **●** Firmware Update
- Reboot Device

Authentication Configuration

ここではログイン画面で入力する ID やパスワードを変更することができます。

- ① 「Username」にはログイン画面で使用する「ID」を入力します。 (初期設定は「admin」です)
- ② 「Password Confirm」にはログイン画面で使用するパスワードを入力します。パスワードは確認のため、2 つの入力欄に同じものを入力します。
 - (初期設定は「admin」です)
- ③ 設定を変更したら、[Update] をクリックします。
- ④ 「Update Successfully!!」が表示されたら、「Reboot」をクリックし本製品を再起動します。再起動後に設定が反映されます。



注意 : ID、Password を変更した場合は、それぞれ変更した値を入力してください。

System IP Configuration

ここでは本製品のIPアドレスを変更することができます。

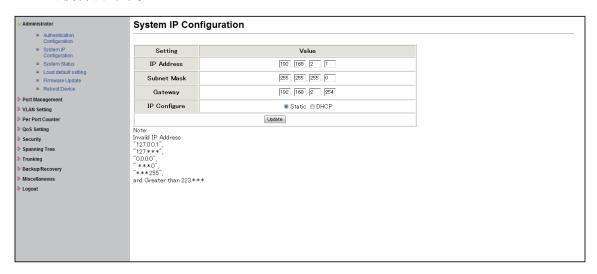
① 手動設定にするときは、「Static」を選び、IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを入力します。

自動取得にするときは、「DHCP」を選びます。

初期設定は以下のように設定されています。

IP Address : 192.168.2.1
 Subnet Mask : 255.255.255.0
 Gateway : 192.168.2.254
 IP Configure : Static (手動設定)

- ② 設定値を入力後、[Update] をクリックしてください。
- ③ 「Update Successfully!!」が表示されたら、「Reboot」をクリックし本製品を再起動します。再起動後に設定が反映されます。



注意 : IP アドレスを変更した場合は、必ずメモなどに控えてください。

System Status

ここでは MAC アドレスやシステムのバージョンを確認することができます。表示される情報は本製品のテクニカルサポートをご利用頂くとき必要になります。

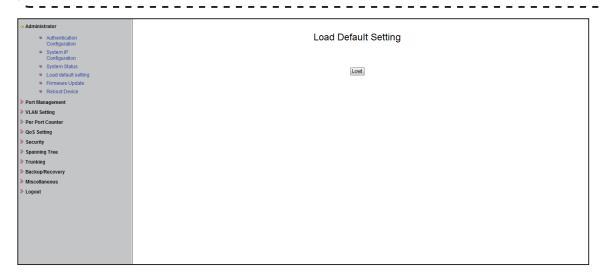
→ Administrator	System Status		
 Authentication Configuration 			
 System IP Configuration 	MAC Address	10.00 of 10.40 at all	
 System Status 	Number of Ports	8	
 Load default setting Firmware Update 	System Version		
 Reboot Device 		Idle Time: 0 (1~30 Minutes)	
 Port Management VLAN Setting 	☐ Idle Time Security	Auto Logout(Default).	
Per Port Counter		Back to the last display.	
QoS Setting		Update	
Security	<u> </u>		
Spanning Tree			
> Trunking			
Backup/Recovery			
Miscellaneous			
> Logout			

Load Default setting

ここでは本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- ① [Load] をクリックします。
- ② 「Update Successfully!!」が表示されたら、「Reboot」をクリックし本製品を再起動します。再起動後に設定が工場出荷時の状態に戻ります。

注意 : 変更した IP アドレス、ID、Password を初期値に戻す場合はハードウェアの Reset ボタンを押して初期化してください。操作方法は P2 を参照してください。



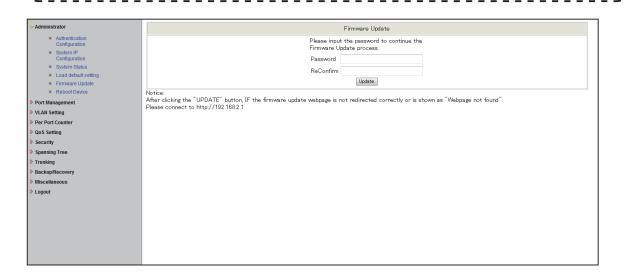
Firmware Update

ここでは本製品のファームウェアを更新することができます。ファームウェア更新を実行するときは、本製品に設定されているパスワードを2つの入力欄に入力し、[Update]をクリックします。

注意 : [Update] ボタンをクリックすると、本体内のフラッシュメモリを消去後、ファームウェアアップデートの待機状態に入ります。

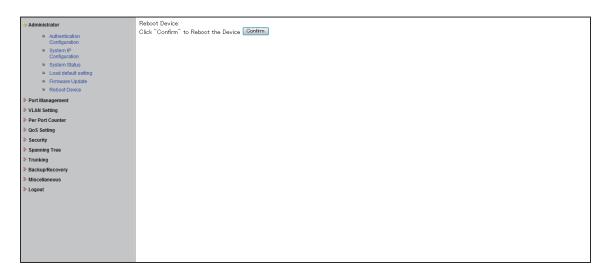
アップデートできるファームウェアがないときは、WEB インターフェースの画面に戻ることができなくなりますので、こちらの操作はしないでください。

万が一、WEB インターフェースの画面に戻らなくなったときは、P29 に記載されている弊社サポートセンターまでご連絡ください。



Reboot Device

ここでは本製品を再起動します。 再起動するときは [Confirm] をクリックします。



Port Management

本製品のポート速度等、インターフェースに関する設定ができます。

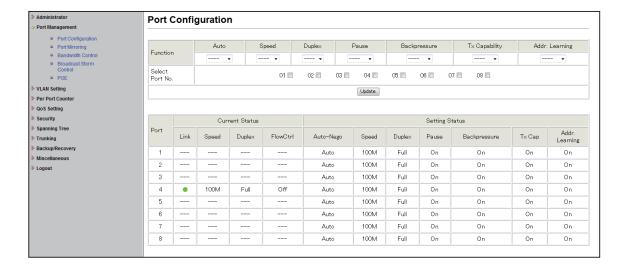
本設定階層には、さらに以下の5項目の階層があります。

- Port Configuration
- Port Mirroring
- Bandwidth Control
- Broadcast Storm Control
- PoE

Port Configuration

ここでは本製品の LAN ポートの設定ができます。設定を変更するときは以下の手順を行います。

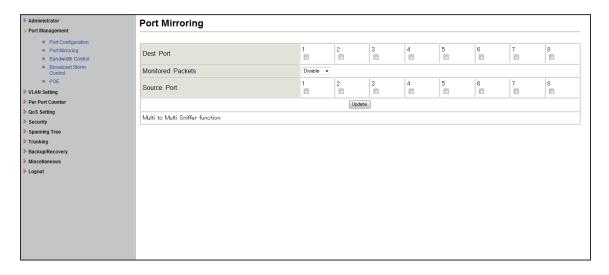
- ① 「Auto (オートネゴシエーション)」より「Enable (有効)」/「Disable (無効)」を選びます。
- ② 「Speed」を「100M」/「10M」から選びます。
- ③ 「Duplex (通信モード)」を「Full」/「Half」から選びます。
- ④ 「Pause」より「Enable (有効)」/「Disable (無効)」を選びます。
- ⑤ 「Backpressure」より「Enable (有効)」/「Disable (無効)」を選びます。
- ⑥ 「Tx Capability」より「Enable(有効)」/「Disable(無効)」を選びます。
- ② 「Addr. Learning」より「Enable (有効)」/「Disable (無効)」を選びます。
- ⑧ 変更するポートにチェックを入れます。
- ⑨ [Update] をクリックします。



Port Mirroring

ここではポートのミラーリングの設定ができます。本製品では特定のポートで受信または送信したパケットを他のポートにコピー(ミラーリング)ができます。本製品ではRx(受信)、Tx(送信)、Rx & Tx(送受信)モードに対応しています。

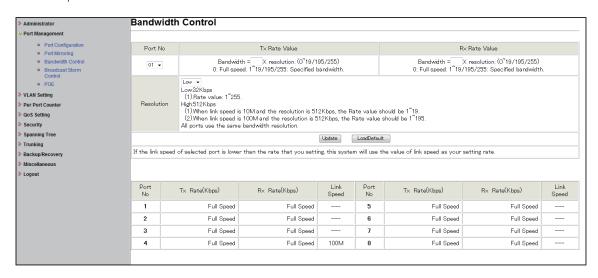
- ① 「Dest Port」よりパケットのコピー先となるポートを指定します。
- ② 「Monitored Packets」より、ミラーリングのモードを選びます。 (「Disable (無効)」、「Rx (受信)」、「Tx (送信)」、「Tx&Rx (送受信)」)
- ③ 「Source Port」よりパケットのコピー元となるポートを指定します。
- ④ [Update] をクリックします。



Bandwidth Control

ここでは本製品の帯域制限(制御)に対する設定ができます。

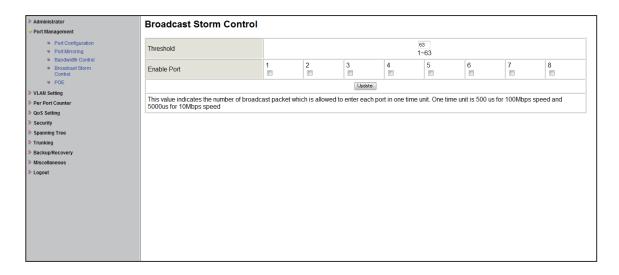
- ① 「Port No」より制御するポート No. を選びます。
- ② 「Tx Rate Value」で選択したポートの送信速度を設定します。 (指定帯域幅は 1~255 です。フルスピードのときは「0」を入力します。)
- ③ 「Rx Rate Value」で選択したポートの受信速度を設定します。 (指定帯域幅は 1~255 です。フルスピードのときは「0」を入力します。)
- ④ 「Resolution」を「Low (32kbps)」、「High (512kbps)」から選びます。
- ⑤ [Update] をクリックします。



Broadcast Storm Control

ここではブロードキャストストームコントロール機能の設定ができます。

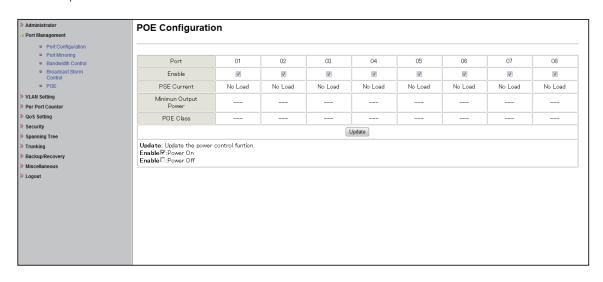
- ① 「Threshold」より、しきい値を「1」~「63」の中で設定します。
- ② 「Enable Port」でブロードキャストパケットを定義するポートを選びます。
- ③ [Update] をクリックします。



PoE

ここでは PoE 給電の有効 / 無効の設定と、給電状況を表示します。

- ① PoE 給電するポートを選びます。
- ② [Update] をクリックします。



「PSE Current」/「Minimum Output Power」 :ポート電流と最小出力電圧が表示されます。

「POE Class」 : PoE ポートのクラスを検出します。

VLAN Setting

本製品の VLAN 機能に関する設定ができます。

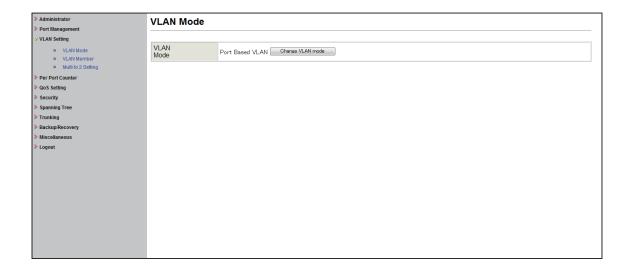
本設定階層には、さらに以下の3項目の階層があります。

- VLAN Mode
- VLAN Member
- Multi to 2 Setting

VLAN Mode

本製品には「Port Based VLAN」と「Tagged VLAN」の2つのモードがあります。 モードを切り替えるときは [Change VLAN mode] をクリックします。

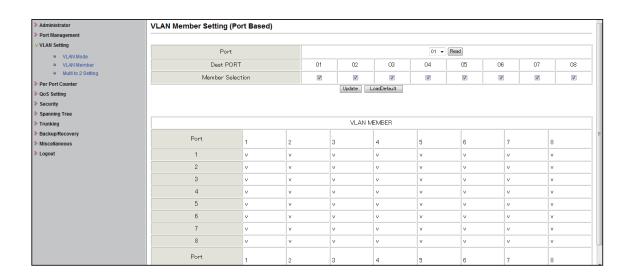
注意: 「Port Based VLAN」が有効のときは、「Multi to 2 setting」と「Tagged VLAN」が自動的に 無効になります。



VLAN Member

ここでは本製品の VLAN 機能を設定します。異なる VLAN グループに参加したポート、及びポートに接続した端末間での通信は遮断され、セキュリティを向上させることができます。

- ① 「Port」より VLAN グループの元となるポートを選びます。
- ② VLAN グループに参加するポートにチェックを入れます。 ※チェックが外れているポートはパケットを遮断します。
- ③ [Update] をクリックします。
- ※ [LoadDefault] をクリックすると、設定値を初期状態に戻します。

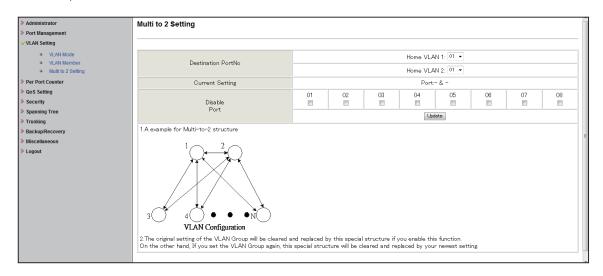


Multi to 2 Setting

ここでは、**Multi to 2** という VLAN 機能の設定ができます。この機能は、「Destination Port No」として指定したポート番号以外のポート同士の全ての通信を停止させる機能です。

(例:インターネットマンションで部屋間の通信を遮断し、各部屋から共通のインターネット回線を利用するとき)

- ① 「Destination Port No」よりポートを指定します。※最大 2 つまで指定ができます。
- ② 通信を停止するポートを選びます。
- ③ [Update] をクリックします。



Per Port Counter

接続しているポートの送信・受信パケットのステータスが確認できます。 [Refresh] をクリックするとステータスが更新されます。

Administrator	Counter Category		
Port Management			
VLAN Setting			
Per Port Counter		Counter Mode Selection: Receive Packet & Transmit Packet	
 Port Counter 	Port	Receive Packet	Transmit Packet
QoS Setting	01	0	0
Security	02	0	0
Spanning Tree Trunking	03	0	0
Backup/Recovery	04	1622	1715
Miscellaneous	05	0	0
Logout	06	0	0
	07	0	0
	08	0	0
		Refresh	
	Note: If Counter Mode is switched from the old one to one will be counted from zero.	o a new one, the counter value of the old one wi	ll be discarded. And the counter value of the n

QoS Setting

本製品の優先制御機能に関する設定ができます。

本設定階層には、さらに以下の2項目の階層があります。

- Priority Mode
- Class of Service

Priority Mode

ここでは QoS 機能の優先度を設定します。

① 優先モードを選びます。

First-In-First-Service : 最初に受け取ったパケットをそのまま送信します。

(QoS が無効です)

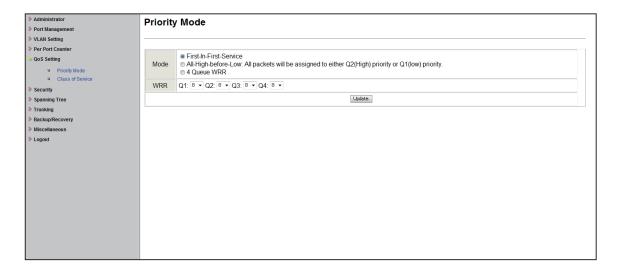
・All-High-before-Low :全てのパケットを優先度の高いキュー (Q2) または優先度

の低いキュー (Q1) に割り当てます。

・4 Queue WRR (Weight-Round-Robin) : ラウンドロビン方式で「WRR」に設定されている値の比率

に従って、パケットを送信します。

② [Update] をクリックします。



Class of Service

ここでは各ポートの QoS モードの設定ができます。

ここでの設定は以下のように優先されます。 「TCP/UDP port」>「IP TOS/DS」>「802.1p」>「Physical port」

① QoS モードを設定します。

・TCP / UDP Port :「Q1」から「Q4」は選択されたポートが有効になります。

「Drop」は全てのポートが有効になります。

パケットキューは「Priority Mode」の「4 Queue WRR」で設定したキュー番号(「Q1」

、「Q2」、「Q3」、「Q4」) に転送されます。

・IP TOS / DS : TOS 値ベースであるパケットが最初に転送されます。

・802.1p : 優先されたマッピングテーブルが表示されます。

・Physical port : 優先キュー (「Q1」、「Q2」、「Q3」、「Q4」) を構成したいポートを選びます。

② [Update] をクリックします。

Administrator	Class of Service								
Port Management									
> VLAN Setting	The switch treats TCP/UDP, IP TOS/DS, 802.1p and physical port CoS scheme in the following priority.								
Per Port CounterQoS Setting	TCP/UDP > IP TOS				•		•	•	
Priority Mode	This means TCP/UI	DP Co	S will override	all other settings.					
Class of Service	(1) TCP/UDP port								
SecuritySpanning Tree	Protocol	Note: (1) Q: (2) "E	1 ~ Q4 options a	re effective for the sele	cted physical por	t only.			
> Trunking	FTP	(2)	пор ориоппо и	io giosai coming for an p	Q1 •				
Backup/Recovery									
 Miscellaneous Logout 	SSH				Q1 ·	•			
₩ Logout	TELNET				Q1 •				
	SMTP				Q1 •				
	DNS				Q1 •				
	TFTP				Q1 ·	.]			
	HTTP				Q1 •				
	POP3				Q1 •				
	NEWS				Q1 •				
	SNTP				Q1 -				
	NetBIOS				Q1 ·				
	IMAP				Q1 •				
	SNMP				Q1 •				
	HTTPS				Q1 •				
	MSN				Q1 -				
	XRD_RDP				Q1 •				
	QQ				Q1 •				
	ICQ				Q1 ·	<u>'</u>			
	Yahoo				Q1 -				
	BOOTP/ DHCP				Q1 -				
	User-defined A				Q1 ·				
	TCP/UDP User-defined B				Q1 ¬				
	TCP/UDP User-defined C				Q1 •	_			
	TCP/UDP	N	ote: These user	defined TCP/UDP por			P/UDP filter		
	User-defined		User-defin	ied A	User-defin	ed B	U	ser-defined	i C
	Port range (65535~1)	F	Port: ~ P	ort:	Port: ~ Po	ort:	Port:	~ Por	t
			The TC	CP/UDP port will be che	cked on the follow	wing physical po	ort		
	01	02	03		05	06	07		08
				L	Jpdate				
	The Class of Service	or TCF	/UDP port numb	per allows the network	administrator to a	ssign the specif	ic application to	a priority	queue.
	(2) IP TOS/DS								
	IP TOS/DS Priority Setting		6'b101110: Q	6'b010010: Q1 + 6'b110000: Q1 +	6'b111000: Q1	 Other Values 	: Q1		
	IP TOS/DS Port Setting		01	02 03	04	05	06	07	08
	Setting								
					Jpdate				
	(3) 802.1p For 802.1p priority fie	d, the s	switch utilizes the	e following priority map	ping table.				
	6 and 7 are mappe 4 and 5 are mappe 0 and 3 are mappe 1 and 2 are mappe	d to the	e "Q3" priority que "Q2" priority qu	ieue. ieue.					
	Port No	\Mode		802.1p		Port No\Mode		8	02.1p
	1					5			
	2	2				6			
	3					7			
	4								
					Jpdate				
	(4) Physical port		Q1		5		Q1	_	
	2		Q1		6		Q1		
	3		Q1		7		Q1		
	4		Q1	▼	8		Q1	•	
				l	Jpdate				

Security

本製品のセキュリティ機能に関する設定ができます。

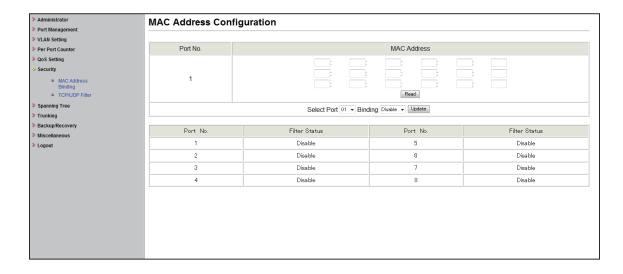
本設定階層には、さらに以下の2項目の階層があります。

- MAC Address Binding
- TCP / UDP Filter

MAC Address Binding

ここでは MAC アドレスによるセキュリティ設定を行います。

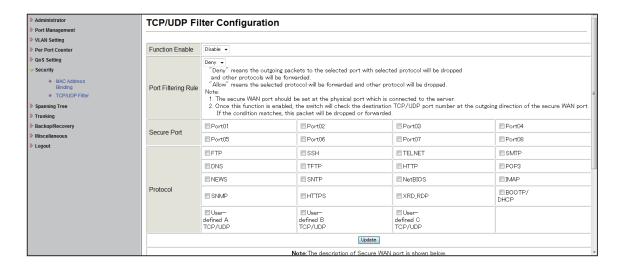
- ※ MAC アドレスを入力したポートはパケットを許可します。
 - ① 「Select Port」よりポート番号を選び、[Read] をクリックします。
 - ② 「Binding」より「Enable」を選び、MAC アドレスを入力します。
 - ③ [Update] をクリックします。



TCP / UDP Filter

ここでは TCP / UDP フィルタを設定します。

- ① 「Function Enable」より「Enable」を選び、TCP / UDP フィルタを有効にします。
- ② 以下よりポートフィルタルールを設定します。
 - ・Allow : 選択したプロトコルへの TCP / UDP フィルタを適用します。
 - ・Deny :選択したプロトコルへの TCP / UDP フィルタを適用しません。
- ③ 「Secure Port」よりポートを選びます。
 - 必ず接続先のサーバが安全であることを確認してください。 この機能がいったん可能になると、本製品は接続先の WAN ポートの TCP / UTP ポートナンバーをチェックします。
- ④ 「Protocol」より適用するプロトコルを選びます。
- ⑤ [Update] をクリックします。



Spanning Tree

本製品のスパニングツリー機能に関する設定ができます。

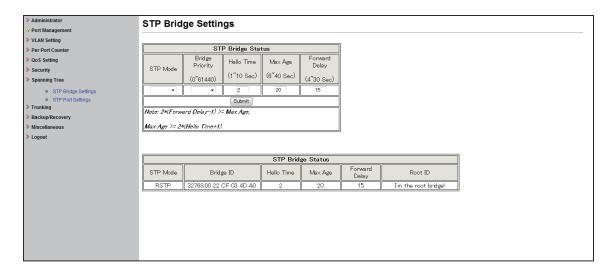
本設定階層には、さらに以下の2項目の階層があります。

- STP Bridge Settings
- STP Port Settings

STP Bridge Settings

ここではパケットが循環による通信障害を防止することができます。

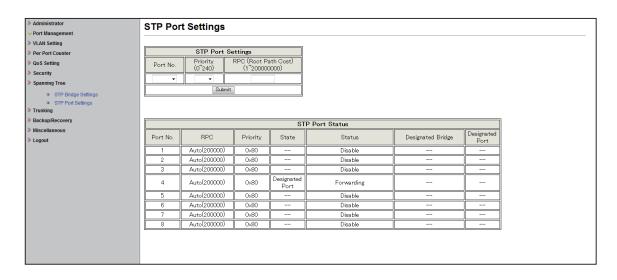
- ① 「STP Mode」を「Disable」/「STP」/「RSTP」から選びます。
- ② 「Bridge Priority」よりブリッジの優先値を設定します。
- ③ 「Hello Time」よりパケットの期間を設定します。 ルートブリッジ構成メッセージの間に期間を供給します。
- ④ 「Max Age」を設定します。 現在のコンフィグレーションメッセージが削除されるべきであるかどうかの時間を設定します。
- ⑤ 「Forward Delay」時間を設定します。 トポロジー変化後の新しい状態が移行する前のブリッジの待ち時間の長さを提供します。
- ⑥ [Submit] をクリックします。



STP Port Settings

ここではスパニングポートの設定を行います。

- ① 「Port No」よりポートを選びます。
- ② 「Priority」より優先値を設定します。
- ③ 「RPC」を入力します。「AUTO」にするときは「0」を入力します。 ここでの設定はループを見付けたとき、STP/RSTP は経路の値を算出します。
- ④ [Submit] をクリックします。

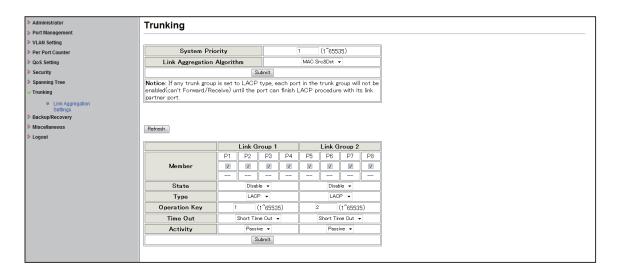


Trunking

本製品の Trunk 機能に関する設定を行います。

Link Aggregation Settings

最大2グループ(グループあたり最大4ポート)作成可能です。



Backup/Recovery

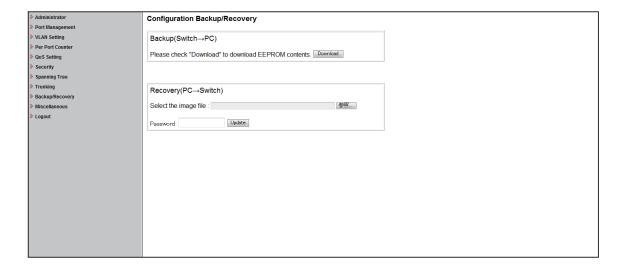
設定情報のバックアップ・読み込みを行います。

バックアップ

[Download] をクリックし、設定ファイルを保存します。

リカバリ

- ① バックアップした設定ファイルを指定し、本製品に設定されているパスワードを入力します。
- ② [Update] をクリックします。
- ③ 「Update Successfully!!」が表示されたら、「Reboot」をクリックし本製品を再起動します。



Miscellaneous

その他の機能に関する設定を行います。

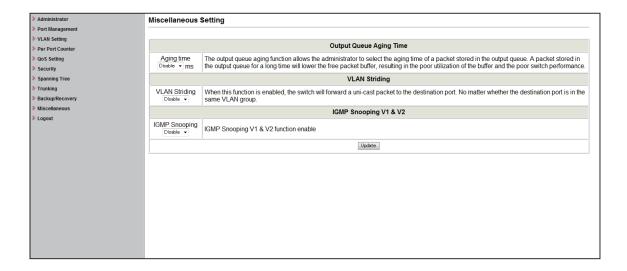
Miscellaneous Setting

・Output Queue Aging Time : キューのエージング時間を設定します。

・VLAN Striding」機能の有効/無効を設定します。

・IGMP Snooping V1 & V2 : 「IGMP Snooping V1 & V2」機能の有効/無効を設定します。

設定の変更を反映するときは [Update] をクリックします。



Logout

本製品の WEB インターフェースからログアウトします。

ログアウトするときは、「Logout」をクリックします。

> Administrator						
Port Management	1	8-Port 10/100Mbps Ethernet Switch				
VLAN Setting						
Per Port Counter	Advanced Features	Basic Features				
QoS Setting						
Security	Bandwidth control Port based & 802.1Q based VLAN	 Embedded HTTP web management Upload/Download configuration 				
Spanning Tree	Statistics counter	Upgrade through TFTP & HTTP				
	Firewall	Security management				
Trunking	POE Power on/off function	Password security				
Backup/Recovery						
Miscellaneous						
Logout						

製品仕様

機能	
1/X HC	IEEE802.3: 10BASE-T
	IEEE802.3u: 100BASE-TX
	IEEE802.3x: フローコントロール
	IEEE802.3at: Power over Ethernet(PoE+)
41 40 16	IEEE802.3ad: Trunk(Link Aggegation)
対応規格	IEEE802.1q: VLAN(Port Based and Tag Based)
	IEEE802.1p: Class of Service, Priority Protocols
	IEEE802.1x: ユーザ認証
	IEEE802.1d: Spanning tree
	IEEE802.1w:Rapid Spanning Tree Protocol
 ポート構成	RJ-45 コネクタ×8:10BASE-T、100BASE-TX
	(オートネゴシエーション、AutoMDI/MDI-X 対応)
スイッチング方式	ストア&フォワード
ネットワークケーブル	UTP/STP LAN ケーブル
	10Mbps:カテゴリ3以上、100Mbps:カテゴリ5以上
パケットバッファ	1.625Mbits
スイッチングファブリック	1.6Gbps
MAC アドレス登録数	4,000 個(全ポート合計)
スループット(64Byte)	10BASE-T:各ポート 14,880 パケット / 秒 100BASE-TX:各ポート 148,800 パケット / 秒
フローコントロール	TOUBASE-TX : 各ホート 148,800 バケット / 校 全二重:IEEE802.3x、半二重:バックプレッシャー
	主一里・ILLLouz.3X、十二里・バックフレッフャ TagVLAN,Port-Based VLAN
VLAN	TagVLAN PVID 範囲:1 ~ 4094
	4 レベル
QoS	対応アルゴリズム:FIFO ,WRR ,High before low
	対応 QoS 方式:Port Base ,Tag Base ,Diffserv ,TCP Port No.
D- E	給電容量:30W/ポート(全ポート合計:125W)、給電方式:TypeA、ON/OFF 切
PoE	替設定有り
Trunk	最大4ポート、2グループ
ポートミラーリング	Tx、Rx、Tx & Rx
マルチキャスト	IGMP Snooping(V1/V2)
スパニングツリー	STP/RSTP
ハードウェア	
ハードウェアスイッチ	Reset
LED 冷却ファン	Power、Link/Act、PoE 搭載
MTBF	142,918 時間
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大 130W
外形寸法	約 266 (W) × 44 (H) × 160 (D) mm
重量	約 1.8kg
	温度:0~40℃
動作時環境	湿度:35~85% (結露なきこと)
	温度:-20~70℃
保管時環境	湿度:10~90%(結露なきこと)
取得承認規格	CE、FCC Class A、VCCI Class A
取	CE、FCC Class A、VCCI Class A

その他		
設定方法	WEB ブラウザ	※ Internet Explorer を推奨
保証期間	1 年間	

- ※設定を行うブラウザは、Internet Explorer を推奨します。それ以外のブラウザでは画面が正常に表示されない場合があります。
- ※ IEEE802.3at(Type2) を利用する場合は、カテゴリ 5e 以上の LAN ケーブルをご使用ください。
- ※ IEEE802.3af 対応機器も利用可能です。
- ※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。 最新情報は、弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp)を参照ください。

ユーザ登録について

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では、製品をお買い上げいただいたお客様にユーザ登録をお願いしております。

ユーザ登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザサポートをお受けになるにはお客様のユーザ登録が必要となります。ユーザ登録の際は、ホームページ掲載の「個人情報保護方針について」をご確認後、ユーザ登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザ登録は下記弊社ホームページ上で受け付けております。

http://www.planex.co.jp/user/

弊社へのお問い合わせ

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。 ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

<ご質問/お見積もりフォーム>

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンタまでお問い合わせください。豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

<お問い合わせフォーム>

http://www.planex.co.jp/support/techform/

<電話>

サポートダイヤル: 0570-064-707

受付:月~金曜日、10~12時、13~17時

*祝祭日および弊社指定の休業日を除く

< FAX >

ファクス番号:0570-088-194

受付:24 時間

◇お問い合わせ前のお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力お願いいたします。

- ・ 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ ご利用のパソコンの型番とオペレーティングシステム名(Windows Vista/XP など)
- ・ ご利用のネットワーク環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ

http://www.planex.co.jp

質問表

技術的なご質問は、この2ページをプリントアウトし必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラ	・ネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当行 FAX:0570-088-194 送信日:
会社名	
部署名	
名前	
電話	FAX
E-MAIL	
型番 Product No.	SWE-0008F5
製造番号 Serial No.	
① ご使用の:	コンピュータについて
メーカー	
型番	
② OS	
OS	SP

3	質問内容